

第2回笠岡市総合計画審議会議事要点録

- 日 時：令和3年7月28日（水）14：00～17：00
- 場 所：笠岡市役所 分庁第4 2階大会議室
- 出席委員：14名
小林会長，大嶋副会長，浅野委員，石井委員，奥野委員，小寺委員
玉置委員，中川委員，鳴本委員，能島委員，東山委員，松尾委員
三島委員，三好委員
- オブザーバー：1名 栗尾市議
- 内 容：下記のとおり

1 議 事

第3章以降，各担部署より説明

【3-1 子ども・子育て環境の整備】

委 員：指標「子育て意識啓発のための講座を受講した人」において，2021年の実績見込70人が，2022年以降の目標値では200人となっている。これはどのような意味か。

担当部署：コロナ禍で現在は規模を小さくして実施している。2022年以降は，コロナが収束していくと見込み，市内高校生を対象とし，規模を大きくして実施する予定としている。

委 員：令和2年の市民意識調査の結果で，質問：「安心して子どもを産み育てるうえで，どのような内容が重要だと思いますか」に対し，全体では「妊娠・出産に関わる支援」が51.6%で最も重要とされており，特に18，19歳では，91.3%となっている。

①この91.3%とはどのような意味か。不安も入るのか。

②これに対する子育て支援施策はどうか。

担当部署：①不安等も含めた関心の高さを表しているものと考えます。

②若い世代へは，小児科医が市内各高校で講演する「若い世代の子育て意識啓発事業」をとおして，若くして子を持つ大切さを啓発しています。今後も引き続き啓発していきたい。

委 員：現在，市内に出産できる施設は3か所あると思うが，基本方針にもある「子ど

もを安心して産む」ことができるように、行政では難しいかもしれないが、妊婦が出産に困ることがないように努力するとともに、市外での出産を考える場合に、産科の情報を分かりやすくする仕組みを考えてみてほしい。

担当部署：今後の子育て支援施策を考えるうえでの参考とさせていただきます。

【3-2 学校教育の充実】

委員：＜対策＞の①に「学校・家庭・地域が一体となって進める地域社会に開かれた学校教育を推進」とある。各学校で地域学に取り組んでいると思うが、笠岡には、令和元年に認定された笠岡諸島の日本遺産等、地域おこしの材料となるものがある。地域学で主要となるものを取り入れてほしい。

担当部署：小中一貫教育に取り組む中で、「地域学」についても他の教科同様、特色あるカリキュラムづくりに取り組み、9年間を見通した仮のカリキュラムを作成し学校に配布している。

その中に「日本遺産」や「カブトガニ」を、どの地区の子どもたちも学ぶ共通教材として位置付けている。その他では、各地区ごとに学ぶ「地域に貢献した人」、「自然」「文化」等を地域教材として位置付けている。

今後、来年度までこのカリキュラムに従って実践しながら、実態に沿った内容となるようブラッシュアップしていき、令和5年度からの小中一貫教育本格実施に備えたい。

委員：金浦中学校区に一体型の一貫校を開校する計画について、笠岡で最初にできる意義とか、進捗状況等、情報公開をしっかりとしてほしい。

担当部署：まさに今、金浦地区の小学校の保護者を対象に説明をしている。更に日程調整をして、説明を重ねて行く予定である。

また、一貫教育推進室が発行している「つなぐ」という通信において、建設についての進捗状況もお知らせしていく予定である。

委員：＜基本方針＞「自立して、共に生きる子どもを育てる学校教育」という表現が堅苦しいので、この中に「楽しく学べる学校」という表現を加えてはどうか。

担当部署：笠岡市の教育行政最上位計画である「教育大綱」に、～学ぶ楽しさ 輝く個性 生き抜く力～という表現があります。それにあわせて、後期計画とも期間が同じであるので教育委員会部局と相談して、調整いたします。

【3-3 生涯学習の推進】

委員：【達成目標2】主要事業の中に「中央公民館講座修了作品展」とあるが、この中には地区公民館の活動は含まれていないのか。地区公民館の活動についても含めた記述にしてほしい。

担当部署：そのように検討します。

【3-5 歴史の継承・文化の振興・カブトガニの保護と活用】

委員：竹喬美術館館蔵品数、という指標について。4,000点を目指すことになっているが、現時点で日の目を見ていない作品が相当あるのでは。その活用についてのビジョンはあるのか。

また、収蔵庫がすでにいっぱい、民間の倉庫も借りていると聞く。そのことをどう考えるか。

担当部署：竹喬美術館の作品収集は、小野家をはじめ多くの方からの寄附によるところが大きい状況です。また収集の際には作品を厳選しており、決して何でもかんでも受け入れている訳ではありません。そういった事情も加味し、「微増」の方向で指標を設定しています。

収蔵庫については、取組概要のところに「収蔵機能を拡充します」とあるように、引き続き検討してまいります。

委員：郷土館についての記述がない。主要事業のところに書くだけでなく、こういうビジョンでいく、という記述を入れるべきでは。

担当部署：そのように検討します。

【3-6 人権・男女共同参画・平和】

委員：外国人労働者が増えているなかで、外国人をサポートしていくことを考えていく必要があると思う。

担当部署：「2-7 多様な交流促進」に記載しているが、笠岡国際交流協会と連携しながら取り組んでまいりたい。

委員：「2-7」は、海外交流について記載がされていると思うが、就労という観点では少し違うと思う。中期的な視野で考えていただきたい。

担当部署：ご意見を踏まえて、企業を訪れて日本語教室を行うなど、笠岡国際交流協会と一緒に考えていきたい。

【4-3 医療・救急体制の整備】

委員：【達成目標1】医療体制の整備の指標「島しょ部診療所（医科・歯科）数」や【達成目標2】島しょ部における医療体制の整備の指標「島しょ部診療所数」等は目標値が2025年まで同じ数値で記載されていますが、何か理由があるのでしょうか。

担当部署：市内全域を対象として休日当番医等による医療の提供につきましては、医師会にもご協力をいただき医療体制の整備に努めています。また、島しょ部の医療体制につきましては、島民の高齢化や人口減少に伴う患者数の減少等もあり診療所の運営が厳しい状況にあります。市内外の医療機関の協力をいただき、医療を提供しております。市としましては、可能な限り現在の医療機関数の維持し、市民への医療体制の維持に努めたいと考えているため、目標値は2025年まで同じ数値としています。

委員：【達成目標4】市民への医療に関わる普及啓発の推進

指標：心肺蘇生法、AED取扱指導受講者数について

「2021年から2025年までの受講者数が同じなのはなぜでしょうか。」

担当部署：管内の小中学校から指導依頼を受け、職員が出向し教職員及びPTA役員の方々を対象に心肺蘇生法、AEDの取扱指導を行っています。その受講者数を計上しているもので、毎年、管内の小中学校から依頼を受け指導を行っていることから、同数値を記載させていただいております。なお、2020年につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により指導を中止したため、実績値が減少しているものです。

委員：近隣医療機関と地域医療連携協定を締結したと思いますが、その後、どのような状況となっていますか。

担当部署：近隣の3次救急医療機関である、倉敷中央病院と令和元年度に、福山市民病院と令和2年度に地域医療連携協定を締結しました。倉敷中央病院とは締結年度に予防医療に関する講演会を共同で実施しましたが、コロナ禍により、その後の取り組みを見合わせている状況です。高度医療機能もつ医療機関と連携協定を締結することは、市民にとって「いざという時の安心」につながっていると考えています。

委員：市民病院の状況が知りたい。

担当部署：昨年度、公募で福山市の病院の理事長が就任した。知り合いの医師を紹介して

もらった。昨年度は病床稼働率70%。現在は、90%前後。患者を長くとどめているのではなく、救急を受け入れている。外来患者も増えている。90%を超えると、黒字化が見込める。

【4-5 高齢者福祉・介護の充実】

委員：子どもが介護をしていると聞かすが、それに対して対応しているか。

担当部署：教育委員会や学校関係、福祉部局に報告はまだないが、危険性がある家庭が増えているということを知ることにはある。先生方の研修等を進めて、対応できるようにしたい。

【4-6 社会保障】

委員：コロナ禍により生活保護者が急激に増えたなど変化はなかったのか。

担当部署：年度別生活保護世帯数ですが、平成30年度末は358世帯、令和元年度末は333世帯、令和2年度末は315世帯とコロナ禍ではありますが減少傾向となっております。また、主な保護廃止の理由としては、就労等による自立や転出、死亡などとなっております。

また、総合指標にあります人口1000人当たりの生活保護者数ですが、参加までに全国平均は16.3人、最も高いのは大阪市の49.1人、岡山県平均は12.7人で笠岡市は7.4人となっております。したがって既に目標値をクリアーしていることから、数値を9から7.3に変更し、年次的に7.2、7.1とハードルを上げていくように設定しています。

【4-10 地域防災の推進】

委員：・土砂災害についての具体的な記載が見当たらないが、どのように考えているのか。

・今井地区においては、草も刈っていない耕作放棄地ができる事によって災害が起こっているの、市が条例で住居から何メートル以内は草刈りをしなさいとするべきではないか。

・水利組合は笠岡市が管理しているか。

担当部署：・災害時という標記は、地震、津波、洪水、内水氾濫及び土砂災害を含む全ての災害を示しているものです。

・1-2の農業振興で④で耕作放棄地の増加⑥で農地の森林化が進んでいるので、記載していますが耕作放棄地の増加に追いついていないので、担当課と協議

してまいります。

- ・台帳を作って、耐震状況を調査しています。

【5-1 情報・プロモーションの推進】

委員：サンライフや中央公民館など、市の公共施設には、Wi-Fiが設定されていない。既存の笠岡の施設を完全に整備するという意気込みでしてほしい。

担当部署：KPIを見直していきたい。市民向けにハンコなしのサービスを提供できるように、事業を進めていきたい。

【全体】

委員：目標数値等が変更したところについて、理由などを記載する方がよいのではないか。

担当部署：数値の変更については、HPにあげるか冊子の中に入れるかして市民にご理解していただけるようにする。